

メッセージを国会議員（右）に手渡すママの会の人たち（左）＝17日、衆院第2議員会館



10/18
去旗

駆け付け警護ストップ

ママの会 国会議員にメッセージ

「自衛隊員の命・家族もてあそばれている」

「安保関連法に反対するママの会」は17日、「南スーダン」駆け付け警護」ストップを！ メッセージ提出アクション」を衆院第2議員会館で行いました。各地のママから寄せられた、約1450人分のメッセージを、4野党と参院会派「沖縄の風」の国会議員に手渡しました。

メッセージは、戦争法にもとづく自衛隊への新任務の付与に反対し、南スーダンへの派遣ストップ、撤退を求めています。行動に「ママの会@青森」のメンバー、坂本麻衣子さん(34)が発言。参院選で野党統一候補を当選させたことが活動の自信になっていると語り、「自民党のやり方に多くの人がおかしいと思っています。これからも行動していきたい」。

国会議員17人が参加しました。代表して、日本共産党の小池晃、民進党の福山哲郎、自由党の木戸口英司、社民党の福島瑞穂、沖

縄の風」の伊波洋一、糸数慶子の各参院議員があいそつしました。